

H8SX, H8S およびH8ファミリ C/C++コンパイラパッケージ V.6 ご使用上のお願い

H8SX, H8S およびH8用 C/C++コンパイラパッケージ V.6 の使用上の注意事項を連絡します。

- 間違ったメモリ領域の参照に関する注意事項 (H8C-0025)

1. 該当製品

Renesas C/C++ Compiler Package for H8,H8S and H8SX family
V.6.00 Release 00~V.6.00 Release 03 およびV.6.01 Release 00

製品型名 :

Windows版	R0C40008XSW06R
Solaris版	R0C40008XSS06R
HP-UX版	R0C40008XSH06R

2. 内容

レジスタにメモリ領域のアドレスを設定せず、間違ったメモリ領域を参照する場合があります。

2.1 発生条件

以下の条件をすべて満たす場合に発生することがあります。

1. cpu=h8sxn, h8sxm, h8sxaまたはh8sxxオプションを使用している。
2. optimize=1オプションを使用している。
3. 以下の条件をすべて満たす選択文がある。
 - (1) 選択文の制御式に配列型、またはポインタ型変数を使用している。
 - (2) 選択文内または選択文直後に、(1)項の変数を使用している式がある (同一要素をアクセスしていない場合も含)

む)。

例1:

```
-----  
-----  
if( a != 式){      /* 条件(1)  
                    aが配列型、またはポインタ型変数 */  
  aを使用している式 /* 条件(2) */  
}
```

例2:

```
-----  
-----  
if( a != 式){      /* 条件(1)  
                    aが配列型、またはポインタ型変数 */  
  .....  
}  
aを使用している式 /* 条件(2) */  
-----  
-----
```

3. 回避策

以下のいずれかの方法で回避することができます。

- (1) optimize=0オプションを選択する。
- (2) 発生条件3に該当する選択文の処理を含む関数を、#pragma option nooptimizeおよび#pragma optionで囲む。
- (3) 発生条件3、(2)に該当する式の直前にnop()を挿入する。

発生例1の回避例:

```
-----  
if( a != 式){  
  nop();          /* nop()を挿入する */  
  aを使用している式  
}
```

発生例2の回避例:

```
-----  
if( a != 式){  
  .....  
}
```

```
}  
nop();          /* nop()を挿入する */  
aを使用している式
```

4. 恒久対策

H8, H8S ,H8SX用 C/C++コンパイラパッケージ V.6.01 Release 01 で改修する予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

© 2010-2016 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.